

## 第4回和田地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成24年6月14日(木)  
午後7時から午後9時まで  
会場 和田コミュニティセンター 研修会議室  
出席委員 22名  
欠席 黒川委員  
傍聴人 2名

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 委員紹介
4. 委員長挨拶

本委員会も4回目を迎えましたが、年度替わりにより、23名の委員のうち半数以上の14名が交代となりました。前任の委員から今までの経過については御承知とは思いますが、中学校につきましては部活動も回らない人数からして統合はやむを得ない。小学校については意見集約まで至っておりませんが、各PTA総会において話し合いの結果ということになっておりますので、その結果についてはそれぞれのPTAで報告をお願いします。いずれにしても、これからの社会を担っていく子供たちの教育の充実と安全ということを念頭に皆さんで検討して良い方向に向かいたいと思いますのでよろしくをお願いします。

5. 教育長挨拶

第4回ということで、委員長からもありましたが、今までの流れを踏まえて御協議いただければと思っております。子どもは子供たちの学習集団の数は一定数あった方がいいのではないかとの考えで、和田地区と丸山地区の小学校4校統合ということで提案しております。4校一緒になりますと各学年2クラスの学校になります。また、海拔の問題や校舎の古い所もありますので、それらの今の学習環境を数の面の改善と併せて、校舎を新しいものに出来たらと考えています。丸山地区も同時進行という形で第3回まで会を重ねております。第3回の丸山地区の結論としては、統合の方向で行こうということで、和田地区の方で、その方向に持っていくわけではないのですが、統合の方向が出たら、和田地区と丸山地区一緒の会議を開いた方が良いだろうというのが現在のところの丸山の状況になっておりますので、そのことを念頭において、御協議いただき、結論を出していただければ大変ありがたいと思っております。よろしくをお願いします。

6. 報告

事務局 「平成23年度検討委員会検討状況について」報告させていただきます。  
平成23年度は検討委員会を3回行っています。第1回学校再編検討委員会

を平成23年11月28日に行い、「南房総市立幼稚園及び小中学校再編計画について」事務局より説明をさせていただき、委員より「幼稚園も再編計画に入っているが代表者には幼稚園の保護者が入っていない。小学校の代表が責任を持って意見を伺うのか」との質問で、事務局からは「PTA組織は幼稚園と小学校の保護者で組織されていると思いますので、PTA代表の方は幼稚園と小学校の保護者の方の代表と認識しております。」と回答しています。第2回会議は平成24年1月19日に行い、「和田地区の幼稚園及び小中学校再編案」として、「幼稚園については和田地区と丸山地区で1園に再編し南三原小学校区内に幼保一体化施設を検討。小学校については和田地区と丸山地区で1校に再編し南三原小学校区内に新校舎を検討。中学校については和田中学校と丸山中学校を統合し校舎は丸山中学校を使用。」という提案をしております。ここで委員より「新校舎を検討するとは新しい校舎を建てるということか」との質問があり、事務局から「考え方の一つとして提案させていただいており、和田小学校では耐震補強がされておらず、またスクールバスの転回等にも不向きであること。また、南三原小学校は海拔7.8mで一番低い位置にあること。それらのことから海拔も高い所に新しい校舎を考えていかなくてはならないと考えています」と回答しました。また、委員から「委員が交代になった時には引き継ぎをしっかりとやって欲しい」との意見があり、事務局から引き継ぎについては、それまでの資料等を基にそれぞれの団体で行っていただくようお願いしています。この第2回会議では市からの提案について早急な結論は難しいため、各団体等に持ち帰って役員会や総会等で検討することになりました。なお、先ほどの引き継ぎの件で区長については団体等の引き継ぎには適さなく難しいことなどから、先日、引き継ぎの会議を開きました。第3回会議は平成24年3月22日に行い、市が提案した再編案について各団体等で検討した結果を報告してもらいました。南三原小PTAはアンケート調査を行い、「和田地区のみで統合」と「和田・丸山地区で統合」がほぼ半々の数値で、中学校については和田と丸山の再編はやむを得ないとの意見が多かったようです。和田小PTAについてはアンケート調査ではなく、各支部で総会等を開き、意見集約したとのことで、和田地区のみで統合したいとの気持ちが大きいですが今後の児童数の減少を考えると和田地区のみで統合してもすぐに丸山地区と統合することになるならば、あらかじめ4校で統合した方がよいとの意見が多かったようです。次に和田中PTAではアンケート調査を行い、その結果、概ね中学校の統合について保護者はやむを得ないと思っていて、部活動の面からも選択肢が広がることから早く統合した方がよいとの意見が多かったようです。また、委員からの意見で「もっと保護者等へ周知した方がよい」ということになり、4月に行われた和田幼

小PTA、南三原幼小PTAの総会にて説明しました。第3回会議の結論は中学校については統合の方向で進めていくこと、小学校についてはもう少し検討を重ねた方がよいことになり、丸山地区と合同で検討委員会を進めていくのかどうかを検討することとなっています。なお、丸山地区については、この再編案に同意し、和田地区との合同会議についても意見がまとまっていますが、和田地区同様に4月に行われた丸幼小PTA、南幼小PTAの総会で説明しています。今後は、和田地区での意見が合同会議の方向でまとまった場合は、丸山地区と合同で会議を進めていくこととなります。

続いて添付資料の説明として、「南房総市地区学校再編検討委員会設置要綱」、「地区学校再編検討委員会組織図」、「地区推進イメージ」、「学校再編に係る協議・検討事項について」及び「推進の流れ」を説明。

質疑等特になし

## 7. 議事

- 事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」  
委員長 許可します。  
(傍聴人入場)
- 委員長 本日の出席委員人数は22人です。過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。第1号「和田地区の幼稚園及び小中学校再編（案）について」を議題といたします。事務局から何か説明ありますか。
- 事務局 特に説明等はありませんが、事務局で和田地区と丸山地区の各幼小PTA総会で再編案に対する考え方等の詳細な説明をしましたが、その後のPTAとしての意見集約状況を確認できたらと考えています。よろしくお願ひします。
- 委員長 事務局からの報告のとおり、各学校PTAから発言いただければと思いますが、南三原小からお願いします。
- 南三原小PTA 南三原小では6月8日から14日の一週間で学校再編のアンケートを行いました。結果ですが、回収した家庭数が68件、約64%の回収率でした。和田丸山地区統合について約78%の53件が賛成で、約19%の13件が反対でした。また、どちらの統合でも良いが1件、無回答1件でした。賛成としては「子供の減少が予測できる中、長い将来まで考えて広い範囲での合併が望ましい」という意見や「幼小中を一つの敷地内にしてもらうと子供の多い家庭は助かる」等の意見もありました。また、賛成の中には、「中学校は丸山地区、幼小を南三原地区と考えなくても良いのでは」「新校舎建設には反対」「和田中が新しく建ててからまだ何年も経っていない」という意見もありました。反対には、「何が安全というのかわからない。新しい校舎にすれば安全かという心配がある。」「4つの小学校がまとまり、遊ぶ場所や人数が増え、

今より遠くまで遊びに行くとなると安全面の不安も増えてくる。」「目の届く人数で小学校はゆっくりと見てもらえる方が理想」という意見がありました。「学級数が多くなっても、担任の先生は変わらず1人だと子供一人一人に目が届かなくなるのでは」という意見もありました。どちらの統合でも良いは、「まずは、和田地区のみの統合が良いと思う。新校舎建設となると、あと何年かはこのままになってしまう。」という意見が出ています。無回答の1件は「合併するからには、登校方法、通学路等安全対策を万全にして欲しい」という意見だけの回答もありました。以上です。

委員長 ありがとうございます。では、和田小学校、お願いします。

和田小 PTA 和田小学校ですが、申し訳ありませんが、この書類自体を引き継ぎされたのが5月中旬以降でして、4人とも新人ということで、この会議自体の内容を全く理解していなかったのですが、先日、本部役員で会議をしまして、これからアンケートを取って、学校全体の意見をまとめていこうという話しで進めているところです。ということで、和田小学校全体の意見はまとまっていない状態です。

委員長 わかりました。では、和田小がまだ意見集約されていないということであれば、全体の判断ということには至らないと思います。和田小については出来るだけ早くアンケートを取りまとめるようお願いします。今、南三原小からの意見がありましたが、それについて、委員から御意見等あればお聞きしたいと思います。前回、中学校については統合ということで、早急に出来るだけ早いほうが良いという意見でしたが、その後、PTA総会等で他の意見等ありましたか。

和田中 PTA PTA総会の時に会長の話の中で今まで3回会議があり、中学校としてはアンケートの結果、統合はやむを得ないと。また、なるべく早い統合を望むという意見があったので、それを検討委員会で話をしてきましたという報告だけはしました。意見等についてはその後何も取ってはおりません。

委員長 何か今までの話の中で意見等ありますか。なければ次回以降引き継いでこの問題を検討するという事でよろしいでしょうか。

和田中 PTA 地区の区長が替わり、その後、地区の総会等で再編の話題とかがありましたでしょうか。

委員長 学校再編について、区の総会や区長会の中で話題に上って、何か意見がございましたでしょうか。

委員 花園区に関しては全くありません。

委員 下三原は総会の時に話はしましたが、反応はありませんでした。

委員 中区も前区長の時から多少の話はありました。その中で学校再編という話では再編は止むを得ないという考えの方も多少いました。そのくらいです。

区の総会等に出てくる方は高齢者で、お孫さんがいるなら多少関心もあるでしょうけど、それ以外の方は関心ないので、保護者の方にお任せという感じですね。

委員 柴も全くなかった。

委員 区民には意見を求めている。要するに区長から報告という感じです。

委員長 行政区ではそのような意見でございます。

委員 でも、公的な意味での話し合いでなくても、地区の中では、もう致し方ないのではないかというのが、ほとんどの意見ですね。

委員長 他に意見ございますか。

和田中 PTA 小学校と中学校の P T A 役員で集まった中で話題になったのが、後ろの資料にもある地域説明会なんです。この地域説明会は丸山地区の様に学校統合の意見がまとまっていないと開けないのか。それとも、現時点の第 3 回までの内容で開いていただけるのか。保護者としては地区に周知したいので、地域説明会を現段階でやってもらえたらどうかと。ですが、資料にある中でどの段階で説明会にまで達するのか分からないので、教えていただきたい。

委員長 今まではどんな段取りでやってきたんですか。

教育長 私ども教育委員会が考えを説明するのではなくて、この再編推進会議の進捗状況を説明するということになると思います。前回の会議で概ね統合の方向だろうということで、最終的には保護者の考えを確認してからの方が良いことになったと思います。それで、私どもは各 P T A 総会等で提案した内容について説明をし、保護者の立場として結論を出していただき、それをここに持ち寄って、保護者でない委員の方々もその意見を聞き、この会議の方向性を出そうと。その段階で私どもの地区の説明会はありうるかなと。今の段階では、私どもが各区に説明に行っても、それほど意見は出ないのではないかと思います。あるいは、逆に言えば、ここにいる委員の方々から、統合の方向で良いが保護者の意見を伺おうとなっているのを、また地区の説明会で戻すことは今まで協議してきたことを無駄にするとか元に戻すことになるのではないかと。それが今、私どもの考えです。

委員 区の説明会ですけど、私も区の役員だった時に、聞いてわかっている範囲で説明しました。でも、やはり高齢者なので、どこまで決まっているのかということで、意見は出てこない。むしろ保護者の人たちがこの方向が良いという方に賛成してくれるのではないかという感触です。一番関心を示したのは海拔が低いことについてで。実際に統合としての意見は出てこないのではないかと思います。

委員長 今までの意見を集約しますと、保護者の意見が重要で、私に関わっている中でも話しはしても、学校のことについてはあまり関心を持たないのが通常

です。今回、和田小がまとまっていないのに決めるということはできないので、和田小の意見が集約された時点で検討した方がいいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 南三原小学校が53人の賛成と13人の反対があるということで、かなりのパーセントで統合に賛成と思いますが、13人の数が多いとみるか少ないとみるか、それぞれ判断のあるところです。和田小学校も和田小と南三原小の統合であれば仕方ないかなという雰囲気が強かった。そこへ、丸山の2校も入って4校となり、それは考えてなかったという声が聞こえてきました。和田小と南三原小で統合すると、1学年20人から30人台ぐらい、丸山を入れると40人から50人台、多いところは60人台になる。4校が集まることによるメリットをもう少し周知した方が、南三原小の13名の方、あるいは和田小で2校で統合と思っていたら4校ですかと思っている方にもわかってもらえるのではないかと。将来的に二度統合するのは大変なので仕方ないかなという人は多いと思いますが、もっと積極的に2クラスになることによって、今までと違った切磋琢磨ができるという中身を含めて、メリットを周知してもらえたら、話は進みやすいのではないかと思います。

教育長 今まで何地区かやってきましたけど、会議の中で、保護者の立場で、ある一定規模の学校が良いという保護者の意見が当然出てきたわけですが、一方で年齢の高い人が、今まで百年あった学校がなくなるのは寂しいという意見がだいぶ出ていた地区もあるわけです。今日で4回目ですが、この会議では実際、子供がいない世代の方たちが自分たちの考えではなくて、保護者の考えで決めていったら良いと言っていたのは大変ありがたいことだと思います。今、委員の話にありました学年2クラスの規模になった時にどういうメリットがあるかということについては両校の幼小PTA総会時に私ども説明してきたつもりです。中学校も含めて規模が小さいと教員の配置とか非常に苦しい思いをする。学年2クラス規模になると担任の方も一つの仕事を2人で手分けしてやれるとか話してきましたので、PTAの方々にはその辺り御理解いただいていると私どもでは考えています。

委員長 いずれにしても和田小PTAのアンケートが出てみないことには何も話にならないのではないのでしょうか。

和田小PTA 和田小の意見がまとまっていないのは申し訳ありませんが、この4月に行われたPTA総会時の意見として、再編案の中で南三原小学区に新校設置と案がありましたが、どうしても和田小学区に残りたいという父兄の方がいたことを考慮していただきたいことと、細かい説明を保護者にしたいので、どうして南三原小学校区になったのかという経緯が分かればお願いします。

南三原小PTA 今までの会議の中で南三原小学区に持ってくる前に中学校を丸山にするな

ら小学校は和田町の中でという配慮でその案にしたと思いますが、南三原小学校区に校舎を建てるというのはスクールバスの話もありましたし、丸山の大井地区がくすの木経由で来る方が丸山を通過して来るより、10分ぐらい早く着くとか、いろいろなメリットデメリットの話があって、その過程で南三原小学校区になったと私は理解している。

教育長

中学校については「和田中学校及び丸山中学校を統合する。校舎は丸山中学校を使用する。」ということではっきりと断定しています。小学校は「和田地区及び丸山地区で1校に再編する。なお、和田地区内南三原小学校区に新校舎を検討する。」という。ですから、中学校よりもトーンを下げた内容になっています。南三原小学校区に建てるということではなくて、南三原小学校区で検討していくというような提案をしております。この理由ですけれども、今、委員がおっしゃったように、中学校は丸山地区に行くので、幼保一体のもの、小学校は旧和田地区に置くのが一般的に感情とかの問題を含めて妥当ではないかというような私どもの提案です。ただ、決定的なものではなく、検討するというような、あくまでも皆さん方の意見をいただき、最終的には決めていきたいと思っています。和田地区に置けないかとありましたが、和田地区の子供たちは数が減ってきています。それと、幼保一体の施設と4校一緒の一定規模の小学校になりますので、和田小学校区では用地が考えられない。現在の和田小学校の敷地を使うにしても、スクールバス等の出入りは踏切があり非常に困難なので、和田小学校の今の敷地は無理だろう。それ以外の敷地は海拔の問題や広さの問題で和田小学校区では無理なのではないか。あと、南三原小学校の敷地も去年の3.11前でしたら考えられましたが、私どもが説明しましたとおり、市内の小学校で一番海拔が低い所ですので、去年の3.11を受けた後に、そこに新しい小学校を建てる判断には至らない。そのようなことで小学校については南三原小学校区で検討するという提案をしております。

委員長

他に何か意見はございますか。

南三原小PTA

この検討委員会は和田小の意見集約ができていないので次回になると思いますが、丸山地区はこちらの意見集約を待っている状態と聞いてます。中学校の意見としては早く統合したいというのが結構あるので、中学校だけの部会を作って話を先行させるとかできないですか。

教育長

議題として中学校の統合について、議題を一つ別にするということは可能だと思います。和田小学校の意向がまとまるまでは小学校の再編については議題に載せないということで。分科会を開いてというのは無理だと思いますので、ここの会議で中学校の統合という方向で一度結論を出して、あとは丸山地区にも説明をして、合同会議も可能ではないかと思いますが、いずれに

しても、両地区の再編会議で了解をいただければ、そういう進め方でいけると  
と思います。

委員長 和田小学校の意見、和田中学校の意見はどうか。

和田中 PTA 丸山は皆ですぐに決めたのに、和田は決まらないのかと言われてもどうか  
なと思います。ただ、中学は本当に子供が少なくなって、野球部が単独で試  
合に出られない状況で保護者としては一日も早く一緒になりたいという思い  
がありますので、できたら進めてはいただきたいのですが、どうでしょうか。

委員長 和田小のアンケートはいつごろ出来そうですか。

和田小 PTA 今月25日に四役と各区の委員の会議を開きまして、その席上でアンケ  
ートの内容を決定し、集計を含めて、7月上旬頃にはまとめられると思います。

委員長 丸山は両方OKということで話が進んでいるようですので、1か月ぐら  
いの時間ならば小中一緒に結論を出して、進めていく方がお互いに話がかみ合  
っていくと思いますが、どうでしょうか。

和田小 PTA 和田小は中学が早急にまとまっていくならば、中学は中学で進めてもら  
いたい。小学校は人数とか地区とか、いろいろ考えている保護者がいるので、  
足並みがそろうとは思えない。早急な所とじっくり考えていきたい所と、あ  
る程度の差が出てしまうのはしょうがないと思うので、その辺は柔軟に対応  
してもらいたい。

委員長 では、中学については統合ということで和田の再編委員は賛成というこ  
とでよろしいでしょうか。

和田小 PTA 中学校の情報が小学校へ伝わってこないのも、小学校高学年ぐら  
いには連絡が来てもいいんじゃないかと思います。もう少し範囲を広げて、下の方  
まで連絡をいただけると。たぶん、幼稚園には分からない方も和田地区では多  
いので。もう少し何かアドバイスをいただけると助かります。

和田中 PTA 和田中で1月30日に幼小と会合し、事務局も来ていただいて、説明会を  
開きました。その時は小学校の保護者はあまりいらっしゃってないよう  
でした。ただ、その時は興味があまりなくてというのはあると思いますが、全然  
知らせていないわけではなくて、前から少しずつやっていました。

和田小 PTA その内容の結果を皆さんにお知らせしていただきたい。話し合いに行  
った人だけが知っているだけではなく、都合が悪くて行けない人もいます。こ  
の会議もそうですが、どのような話になっているのかを皆に知らせてい  
かないと、意外と皆さんわかっていないので。

和田中 PTA 和田小を弁護するわけではないですが、その後、学校便りでお知らせ  
しているはずなので、和田小が一番お知らせしていると思います。そうしたら、  
幼小中でもう一回ぐらい説明会を開いた方がいいですか。

南三原小 PTA 今日、2回目のアンケートを報告しましたが、小学校にだいぶ温度差がある。

南三原小はこの会議のことを私なりに文書でまとめて、校長先生の許可をもらい、毎回配布していましたが、和田小は前校長がお便り出しているという話を聞きました。私も父兄として、全部、学校の便りに目を通してあるかというところではないのですが。学校が今どういう状態か把握するのも保護者の責任ではないかと思えます。和田小は早く意見集約をお願いします。

委員長 今、いろんな意見が出ましたが、和田小については早くアンケートを集約してもらいたい。それによって、委員会は進んでいきます。中学については、別々にやってもいいのか、丸山と協議してみないと分からないと思えます。

和田中 PTA 今話を聞くと、丸山にこれ以上待たせるのも、せっかく早く決めていただいたのにといい思ひもあります。申し訳ないけれども、中学校だけで進められるのであればその方がいいのではないかと思いましたが。どうでしょうか。南三原小さん、和田小さんはいいですか。

南三原小 PTA 南三原小については2月のアンケートで中学の再編について聞いて、高い数字で賛成でした。

和田小 PTA 和田小は至急アンケートを取りますが、もう一回、中学校再編についてしっかり説明して、それを受けて大至急報告させていただいてよろしいですか。

委員 中学校を先に統合するといった場合、何か制約がありますか。

教育長 制約は特には無いのですが、ただ、引っ掛かりますのは、和田小は統合は難しい状況といった中で、中学校だけは統合するということの了解はどうやって得られるのかという気がします。できれば、小中揃えて結論をいただきたい。もう一度、8ページの推移予想を御覧下さい。推移予想とあるが推移ということではなくて、現実に学区で生まれている子はこれしかないということで、和田小学校を見てみると、6歳が11人、以下6人、12人、8人、9人、6人。男女別に見てみると1歳の女子が2人とかそういうところも出てきます。この6歳の子供たちが6年生になったときには1歳の子供たちが1年生で、このときの和田小が全校で52人。私どもは1学年6人という様な状況で教育を展開していくことは考えておりません。私どもは一定の規模があった方が子供たちの可能性や力を発揮させるためには良いという考えにあります。これは少人数とは教育の世界では言わないと思えます。上に極が付きます。極少人数ということで。一般的に少人数といわれるのは40人学級に対して、少ない人数、20人とか。ここまで少なくなった場合については少人数指導とか少人数学級という範囲を超えていますので、子供たちが持っている可能性を引き出していく為にはこの人数では私どもは責任が持てないというか、十分に果たしていくことができないという判断で、最初の提案をしておりますので、その辺を踏まえて御判断いただきたいということと、私どもは、たまたま長い歴史の中でこの再編のことを協議する立場に立って

いますので、それぞれ御見識や今までの経験をお持ちだと思います。その上に立って、現状を見て、御意見をいただければ大変ありがたく思います。私どもは多くの方の御理解をいただきたいと思っています。ただ、100%の賛成は得られないかもしれないけれど、判断する時、決断する時があれば決断しなくてはいけないという考えは持っていますので、それらを踏まえて、和田小学校の意見集約していただき、小学校の再編についての考えが、もう一回待ってまとまるようだったら、待って進めた方が、私どもとしても進めやすいかなと思っています。皆さん方がどうしてもということでしたら、考えなくてはいけないですけれども。

委員長 今までの意見を聞きますと、ここでまとめるわけにはいきませんので、第2号の次回の検討委員会の日程ですが、和田小のアンケート集約が出れば、その時に検討するというのでいきたいと思っています。事務局からお願いします。

事務局 次回の検討委員会の日程ですが、できましたら7月の早いうちに行いたいと思っております。和田小のアンケート結果がいつ頃集約できるか、その日程に合わせて会議開催が出来ればと思いますが。

和田小 PTA 今月中にまとめます。

事務局 では、7月12日ということで時間は同じでお願いしたいのですがよろしいでしょうか。

委員長 それでは、今回は7月12日午後7時からということで。では、これもちまして、本日の議事を終了いたします。

(傍聴人退場)

閉会